

質問者氏名	質問事項	質問要旨
11 番 遠藤 秀則	1 防災について	<p>ここ数年において、日本全国では大きな地震や津波、多くの台風による異常気象が起きており、またこの度の 15・19 号の台風において全国各地での大きな災害と尊い多くの人命が奪われました。亡くなられた方々のご冥福を心からお祈りをいたし、災害と防災について質問をさせていただきます。</p> <p>①今回の台風における町の早期対応策についてお伺いします。</p> <p>②今回の台風は、今までにない危険性のある台風であることが早くから報道されていましたが、避難所の当初開設数は適正であったのか伺います。</p> <p>③避難勧告が出された時点での徒歩等による避難は危険であり、特に一人暮らしの方等は自力での避難が困難であったことから、改めて自助・共助の重要性を痛感しました。そこで、自助・共助が機能するために、公助として果たすべき役割について伺います。</p> <p>④避難所の従事職員は町内在住の方がほとんどと聞き、非常時における町内在住職員の必要性を感じたところです。今回の台風における避難所での職員配置及び人数は適正であったのか伺います。</p> <p>⑤町は避難する時は食料等を持参することを放送していましたが、水や食べ物を持ってこなかった避難者の方が多くいたことから、平時からの周知徹底が必要と感じました。これまでの、また今後の周知方法策について伺います。</p> <p>⑥今後もこのような大きな災害が想定されますが、これを教訓として、町とし</p>

質問者氏名	質問事項	質問要旨
(遠藤秀則)		てはどのような防災対策を行っていくのか伺います。
2 番 勝俣 公好	<p>1 台風19号における湖尻水門の放流について</p> <p>2 仙石原強羅停車場線(県道733号線)の道路の拡張について</p>	<p>10月12日に台風19号が来襲し、総雨量1,000mmを超える記録的な大雨となり、大きな被害をもたらしました。早川の水位が上がり、氾濫まで数十cmになるほどで、床上浸水が発生し、芦ノ湖の水位も上昇、遊覧船が数日間運休するなどの被害をもたらしました。</p> <p>私は平成19年の12月定例会で、台風9号が来襲した際の湖尻水門の放流について一般質問しました。その時にも放流に問題があり、ゴルフ場や民家に浸水の被害が発生しました。今後の湖尻水門の開閉操作を台風の進路や時間雨量の特徴、地域分布などを検証した上で、事前放流を静岡県芦湖水利組合に理解を求めていくとの回答でした。</p> <p>テレビ等の報道で、台風19号が大型の台風であり、関東地方に上陸の恐れがあるとの情報から、事前放流をもっと早くできなかったのか伺います。</p> <p>その他の台風19号の被害として、国道138号線が仙石原・宮城野間で通行止めとなり、迂回路として県道733号線の車両通行量が増加し混雑しています。特に県の水道局水土野水源から、こもれば坂手前までの300m位の区間は狭く、車のすれ違いに苦労していますが、国道138号線の通行止め等を想定した上で、一日も早く狭い区間の道路拡張をしてもらえないか伺います。</p>

質問者氏名	質問事項	質問要旨
13番 折橋 尚道	<p>1 令和元年度の財政見通しと災害に関する支出</p> <p>2 オリンピック・パラリンピックを前にした観光振興対策</p>	<p>① 固定資産税超過課税を継続した本年の税収入の見通しとして、予定されている通りの収入確保ができていますか。</p> <p>② オリンピック・パラリンピックを前にして新規に開業する宿泊施設、新規投資をしてリニューアル等をしている施設もあるが、こうした施設からの税収入増を図れる見込みは。</p> <p>③ 大涌谷レベル上昇と台風被害による税収入に関して影響はどの程度生じているのか。</p> <p>④ 災害支援のふるさと納税が増えているが、町として使い道の検討はされているのか。</p> <p>⑤ 基金の取り崩しをして対応するような状況は生じているのか、また検討されているのか。</p> <p>① オリンピック・パラリンピック期間中は多くの外国人観光客が東京を中心に来日する。滞在期間も長期間とされオリンピックと合わせて周辺への観光が見込まれる。これはラグビーワールドカップで見られた様子である。開催までのインバウンドに関する町の観光施策はどのような準備をしているのか。</p> <p>② 観光インフラの考え方について、5Gに対応する新しい通信方法への対応と、Wi-Fiに対する整備。キャッシュレスに関するスマホ・カード決済の普及促進を早急に進める施策は。</p>

質問者氏名	質問事項	質問要旨
<p>9 番 山田 成宣</p>	<p>1 芦ノ湖の治水対策について</p>	<p>このほど、11月6日版の神奈川新聞によりますと、台風19号による記録的大雨の影響で氾濫した芦ノ湖の治水対策をめぐり、神奈川県議会決算特別委員会の場で、県は、原因や対策について検証していただける方針を明らかにしました。</p> <p>芦ノ湖の水量の許容量を越すような雨量で水位が増した場合、湖尻水門の開閉をどう対応するのか、必要に応じて静岡県側と災害対策の運用改善に向けて協議をし、再発防止を図る考えだとも報じられていました。</p> <p>今回の台風では、全国の観測史上最高となる48時間雨量が1,000ミリを超えました。芦ノ湖はこの影響で、氾濫危険水位を超えたまま水位が下がらず、湖尻地区においては湖畔にて営業しているお店兼住宅の地下倉庫に大量の湖水が流れ込み、建物はもちろん、冷蔵庫など電化製品すべてを損傷してしまいました。</p> <p>また、他の湖畔地区においても観光施設への浸水・遊覧船等の運休、芦ノ湖漁協組合の甚大な損害、また、湖水が流れる早川でも増水により流域に浸水被害がありました。</p> <p>ご承知のとおり、2005年の台風被害で、翌年2006年から見込み雨量に基づく事前放流が認められるようになっておりまして、今回の台風19号でも、気象庁の降雨予測を基に、10月10日の午後7時に事前放流を開始し、20日の午後7時まで放流が続けられたとも報道されていますが、結果的には、芦ノ湖と早川で浸水被害が発生してしまいました。</p> <p>水利権にかかわる歴史の中で、いろいろ</p>

質問者氏名	質問事項	質問要旨
(山田成宣)		<p>ろな事柄があったことは承知をしていますが、今回の台風被害を教訓に、是非とも異常気象に伴う大雨時の際の対策が必要だと思います。</p> <p>芦ノ湖漁協組合・芦ノ湖自然を守る会など、公の各団体も切望しております。</p> <p>そのことを踏まえ、現状箱根町としてはこの課題<芦ノ湖の事前放流>についてどのように考えておられるのか、町長のご所見を伺います。</p>
6番 小川 鶴雄	1 湯本地区公共施設の利活用について	<p>消防湯本分署及び箱根観光物産館の在り方に関しては、平成28年度に町が策定した公共施設再編・整備計画に方針の検討が位置付けられて以降、消防湯本分署の建替え工事が着工されるなど着実に進捗が図られているところである。</p> <p>さらには次のステップとなる既存施設の利活用については、町からの報告により順を追って検討を進めている状況は理解しているが、町民の関心も高いその内容に関して、改めて次の3点を伺う。</p> <p>① 利活用に関するサウンディング調査の結果詳細について</p> <p>② さがみ信用金庫への貸付に関する進捗状況について</p> <p>③ 活用策の検討状況、今後の方向性及びスケジュールについて</p>
10番 稲葉親太郎	1 台風19号の観光への影響について	<p>台風19号が与えた影響、とりわけ町の基幹産業である観光に与える影響について、以下3点についてお伺いいたします。</p> <p>① 東日本大震災や2度の噴火警戒レベルの引上げでも町の観光業は影響を受けました。町の観光産業にとって、まず</p>

質問者氏名	質問事項	質問要旨
(稲葉親太郎)	2 大涌谷園地の状況について	<p>は事業者が元通りになることが先決と考えますが、国や県、町は、被災した事業者に対してどのような支援体制を取っていくのかお伺いいたします。</p> <p>②土砂崩れにより、温泉供給事業者も被害を受けたと伺っております。温泉の供給が止まったことで、箱根への観光客も減少したのではないかと推測します。観光客の減少によりどの程度の影響が発生したと考えておられるのかお伺いいたします。</p> <p>③大涌谷の影響で運行が停止されていたロープウェイはすでに再開され、大涌谷園地も開放されましたが、被災した国道138号線の開通や箱根登山鉄道の運行再開には、まだ時間を要すると聞いています。このように交通網が完全でない中で、町はどのように観光客をお迎えするのかお伺いいたします。</p> <p>去る11月13日に開催された、箱根山火山防災協議会による大涌谷園地再開について同意を得て、箱根町は11月15日午前9時より大涌谷園地への立入規制を見直し、園地内への観光客の立入が許可されることになりました。</p> <p>大涌谷園地再開に向けた町長コメントで、立入許可の内容は、噴火警戒レベルの引上げ前と同様、許可時間は午前9時から午後5時まで、許可地域は従来と同じ大涌谷園地の一部とし、自然研究路については引き続き、終日立入規制を継続します。と発しております。</p> <p>そこで、以下3点についてお伺いいたし</p>

質問者氏名	質問事項	質問要旨
(稲葉親太郎)		<p>ます。</p> <p>① 箱根山火山防災協議会は火山活動が沈静化したことから、園地再開に結びついたと思いますが、前回レベルが引き上げられた要因に、大涌谷園地付近を含む内輪山における火山性地震や蒸気噴出及び地面の隆起・沈降・移動等がありましたが、現在の状況についてお伺いいたします。</p> <p>② 大涌谷観光については、以前のように「人的被害ゼロ」を目標に掲げ、安全対策を十分に確保し、内外から訪れる観光客に園地の景観を楽しんでいただきたいと思いますが、今回の園地再開に際し、基本的な方針や、ハード・ソフト面において、改良するような点があるのかお伺いいたします。</p> <p>③ 登山者やハイカーの皆様には、自然研究路や内輪山ハイキングコース等の開放を待ち望んでいらっしゃる方もいらっしゃると思いますが、開放に向けては、どのような対策が必要かお伺いいたします。</p>
7番 村野由紀子	1 有害鳥獣対策について	<p>イノシシやニホンジカなど特定の鳥獣や外来生物の生息増加、生息域拡大等により、生態系や農林水産業への被害は深刻です。町も生活及び農作物被害等の防止を図るため、神奈川県猟友会箱根支部に委託する等、イノシシやシカ等の捕獲や被害防除を推進し、鳥獣の適正な生息数の維持に向けた取り組みを行ってくださっています。</p> <p>しかし、依然として、イノシシやシカが目撃されており、箱根全山に出没して</p>

質問者氏名	質問事項	質問要旨
(村野由紀子)	2 「気候非常事態宣言について」	<p>おります。特に、各地で猛威を振った台風 19 号の後から、住宅地への侵入により庭を荒らされたり、ごみ箱を倒されたり被害が広がっております。また、湯本や仙石原の小学校、幼児学園付近でもイノシシが出没し、不安の声が上がっており、さらなる対策強化が必要であると思っております。そこで、有害鳥獣の取り組み状況と対応、今後の対策についてお伺いします。</p> <p>「気候非常事態宣言」とは、地球温暖化が人間と自然環境を危機的状況に追い込んでいると行政が認識し、問題解決の手立てを早急に講じる計画であることを住民に伝えるために行う。「宣言」という形をとることで行政側が気候変動を事実と認めていることを公に示し、住民にその危険性を周知徹底させよう、呼びかけようということです。2016 年、日本を含む 175 の国と地域が気候変動の脅威と、それに対処する緊急の必要性を認識し、温暖化に対して「産業革命前からの気温を 2℃より低い状態に保つとともに、1.5℃に抑える努力を追求する。」ことを目標とした「パリ協定」について署名しました。日本各地でも猛暑、台風、集中豪雨、洪水などの気象災害により痛ましい被害が発生しています。箱根町においても大型で強い勢力を保ったまま伊豆半島に上陸した台風 19 号は降り始めからの総降水量は千ミリ超と全国最多を記録しました。土砂崩れや道路の通行止めなど被害は多数。私たちの箱根は温泉保養地で、ほぼ全町が富士箱根伊豆国立公園に指定され</p>

質問者氏名	質問事項	質問要旨
(村野由紀子)		<p>ており、豊かな自然と文化遺産など、誰からも愛されている箱根町を守り続けなければなりません。そこで、次の3点についてお伺いします。</p> <p>① Reduce（リデュース・ごみの排出抑制）、Reuse（リユース・再利用）、Recycle（リサイクル・再資源化）、Refuse（リフューズ・ごみの発生回避）の取り組みと成果についてお伺いします。</p> <p>② 森林の適正な管理などにより、温室効果ガスの排出抑制、森林、里山、河川等の自然循環の推進についてお伺いします。</p> <p>③ 総降水量千ミリ超と全国最多を記録した本町として、気候非常事態宣言について考えをお伺いします。</p>
8番 川端 祥介	1 令和元年台風19号に関する本町の被災状況、町の対応、豪雨被害、今後の対策について	<p>① 台風19号における、本町の主な被災状況と、対応についてお伺いいたします。</p> <p>② 想定を超えたこの度の豪雨被害について、今回の教訓と、今後の豪雨対策についてお伺いいたします。</p> <p>③ 過去にない新たな災害に対して、これから将来に備えハザードマップの更新をどのように行っていくのかお伺いいたします。</p> <p>④ 今回の豪雨による被害の原因は、森林の保水能力の低下との指摘があります。宅地等の開発規制や、森林の涵養をどのように図っていくのかお伺いいたします。</p>

質問者氏名	質問事項	質問要旨
1 番 山田 和江	<p>1 台風 19 号を教訓とした災害対策について</p> <p>2 地球温暖化対策町の取り組みについて</p>	<p>台風 19 号は当町に記録的豪雨をもたらした。甚大な被害を発生させた。今後地球温暖化が進行すると、さらなる異常気象による災害が発生するといわれている中で、今度の台風 19 号の災害を教訓とした防災まちづくりのために以下の件について質問する。</p> <p>① 台風 19 号の当町での被災の最新の状況について</p> <p>②被災された町民の支援の状況について</p> <p>③被災された事業者や影響を受けた事業者への支援の状況について</p> <p>④長期運休が見込まれる箱根登山鉄道の観光への影響と代替輸送力の拡充についての町の考えについて</p> <p>⑤防災無線について</p> <p>⑥早川の河床整備と護岸の整備を早急に行うことについて</p> <p>⑦芦ノ湖の放流について</p> <p>地球温暖化対策についての当町の取り組みについてその内容を質問します。</p>
12 番 沖津 弘幸	1 仙石原地域のまちづくりについて	<p>①まちづくりプラットフォームにおける進捗状況についてお伺いたします。</p> <p>②小田急バスターミナル提案についてお伺いたします。</p> <p>③仙石原交差点及び付近の歩道の考え方についてお伺いたします。</p>